



～大好きな先生やお友だちと一緒に～

猛暑が続いた夏です。屋上で水あそびができない日もありましたが、朝の早い時間帯にしたり、ロビーや廊下で身体を動かしたり、いろいろな素材に触れたりしながら、暑い夏を笑顔で楽しく過ごしています。



屋上で水あそび

落ちてくる水をペットボトルやカップなど、いろいろな空き容器で受けて遊んでいた時、水しぶきにビックリして…。思わず大はしゃぎです。



マットでジャンプ

デコボコのマットの上にカラーマットからジャンプ！バランスを取るのが難しく、座り込んでしまって「あはははあ。」面白かったね。



小さいお友だちをよよし

なぜだか、自分より小さいお友だちだということがわかる子どもたちです。顔を見つめてにっこりしたり、そっとよよししたり…。可愛いねと、言っているようです。



新聞紙風船で

新聞紙がいっぱい詰まった風船のカサカサという音や感触を楽しんでいた時のこと。急に一人の子が保育者の顔をビニールに近づけようとしています。先生もやってみて～と誘ってくれているようです。



好きなあそびや興味があることを楽しんでいると、大人も子どもと一緒に笑顔になる場面がたくさんあります。私たち大人は、子どもと笑いあった瞬間、楽しさはもちろんですが、通じ合ったような気持ちになり心が満たされます。子どもたちも、自分の感じたことを分かってくれたという表情になり、笑顔が輝きます。一緒に笑い、思いを受け止めあい、伝えあいながら、子どもたち一人ひとりが大切にされていると感じ、自分らしく生きていく力を発揮できるよう、心が動く経験を大事にしていきたいと思っています。 乳児園主任